

# 植球根を 主体とした春花壇の作り方

蝶 野 秀 郷

冬の永い北国では、雪どけと共に春が駆け足で訪れます。曆も四月となれば、公園や逍遙地に、あるいは家々の庭先に積雪の間から西洋芝のグリーンがあらわれ、白や紫や黄色のクロッカスがぱつと可憐な花を開き、水仙、ヒヤシンスそして色とりどりのチューリップの花々がバンジーやデージーと咲き競う頃ともなれば、北国の春も最盛りとなります。

この頃になってから、わが家の庭にも水仙やチューリップを求めめる人が未だ多数みうけられますが、これらの球根は春に移植することは殆んど不可能です。春花壇の球根草花の美しさを満喫するためには今からその準備にとりかからなければなりません。

## 一 花壇設計の指針

それでは花壇をつくる基本的なことからについて述べてみます。美しい花壇というものそれはそれ自身が独立したものとして観賞されるのではなく、周囲の環境とよく調和を保ってつくられなければなりません。視野の広々とした公共緑地にはスケールの大きい花壇を、敷地の小さな個人庭園には意匠に細かい工夫をこらした花壇がつけられますが、そのためには美をつくる形式としての統調、対称、対比、反復、比例、漸層等の技術や色彩の配合に注意が払われます。

### (I) 花色と草姿

花壇に植込まれる草花は花色だけでなく草姿も問題になりますが、花色の配合については基本的には一応左図の色環を参考に

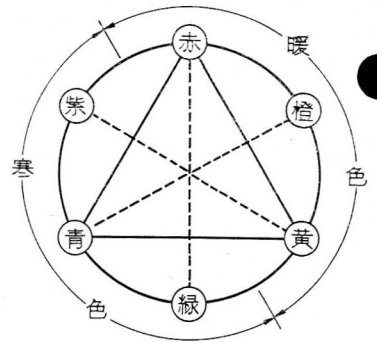
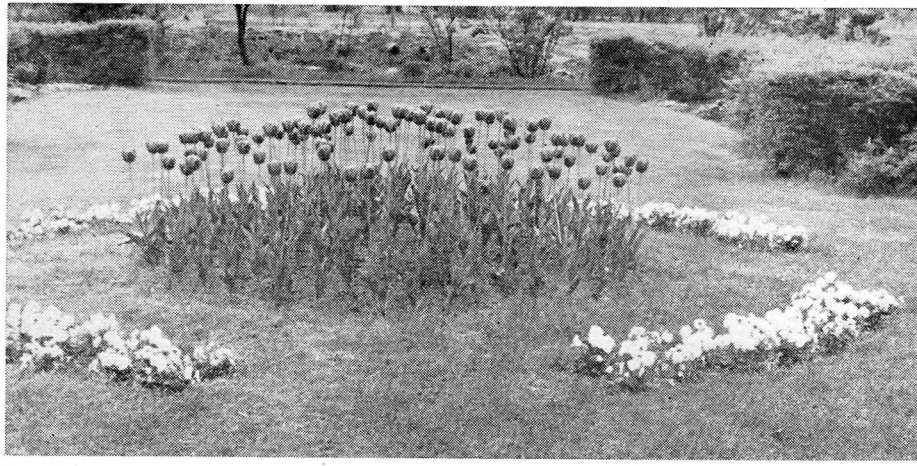
パーゴラの下に設けられたチューリップの境栽花壇



☆カタログ御希望の方は、30円切手同封の上御申込下さい。

# 秋

ローンの中央に設けられたチューリップの円形花壇とハンジー組み合わせ。



するとよいでしょう。三原色のみの組み合わせは目立ちすぎ上品さに欠けますが、近似色（色環上の近接色）同志の配合は温和な感じを与えます。赤と緑のような関係を補色といいますが、この組み合わせは美しく鮮やかな配色となります。また明るい花壇をつくるには暖色系の花を、落ち着いた花壇には寒色系の花を多く用います。白は中間色といひ清楚感を与えますが、この色のみでは変化に乏しいので近似色同志の中間に入れて変化をもたせたり、緑にはよく映えますので補色関係にある赤との中間に入れますと一層鮮やかとなります。芝生の中の赤いチューリップと白いハンジーとの組み合わせはよく見受けられるものです。

## Ⅱ 花壇の名称

花壇の名称は季節とか様式、形あるいは設けられる位置等によっていろいろと名付けられています。花壇の内容によって大きく一年床と多年床に分けられます。一年花床は寄植花壇に代表されますように、よく目立つ場所に設けられ、四季を通じて美

麗に飾られるものです。花床の形は円や長方形を基本とし、それらの簡単な組み合わせと変型に止め、複雑な形はさげ、植込む種類もごく少数に限り、草花の色彩の量感と配合とによって美観を發揮するように計画します。また敷地の側方や建物、生垣沿いに設けられる機会が多い宿根境栽床（多年床の代表的なもの）においても植込む種類はできるだけ少なくし、各種類はコロニーを単位として植込みます。コロニーは花床の大きさにもよりますが、チューリップや水仙等では一〇株程度、クロッカスなら二〇〜三〇株はほしいものです。一年花床はその性質上年二、三回の植替えをします。原則としては球根類は一年草扱いをうけますが、多年花床では数年間そのままにおかれますので、維持管理の点からみて個人庭園にはある程度大きな面積をとってもよいでしょう。

## Ⅲ 花床の準備

さて花床の場所が決りましたら十分耕起し排水に気をつけ、あまりに粘質や砂質にすぎない場合には客土等で土質を改善します。一年花床は原則として肥料を必要としますが、球根類は凋花後も花床にそのままおかれる場合が多いので、そのような場合には施した方がよく、球根の種類によって多少異なりますが、完熟堆肥を中心に油粕、草木灰、過燐酸等をよく土壌と混和し、直接球根に触れないようにします。とくに多年花床ではあらかじめ十分元肥を施し肥沃な土にしておきます。球根の購入に際しては外傷のないよく緊ったものを選びま

す。チューリップでは外皮が裂けていてその内部に病斑のあるものがありますから注意し、信用のある種苗店で求めましょう。植付時期は種類により多少異なりますが、その適期中に植えたいものです。球根は基盤目でなく、互い違いに並べ、植込みの深さは球根の頂部までの深さが球根の高さ二、三倍になるのを標準とし粘質地ではやや浅めに砂質地では深めに植えます。

## 二 春花壇用秋植球根

### チューリップ

春花壇用の球根花卉として最も代表的なもので、多くの系統があり花色も豊富で開花期も五月上旬から下旬までたくさん品種があります。花壇用の主な系統について掲げますと、

◎一重早咲き——五月上・中旬にかけて開花し、花卉の先は尖っているものが多く、花型は盃型となります。開花時の草木は一五〜二五センチです。代表的な品種としては、カイザー・スクルーン（赤と黄の覆輪）、ゴールデン・マスコット（黄）等があります。

◎八重早咲き——前者と同じ頃に開花し、草丈はやや低めですが花型も大きく開花期間も長めです。品種 ブール・パーク（緋）、ピーチ・ブロッサム（濃桃）等。

◎メンデル——ダーウィンとデイク・パトールの交配種で花型、草姿はダーウィンに似ていますが、花はやや小さめで五月中旬に開花します。品種 アスリート（白）、

キング・オブ・ザ・レッド(赤)等。

◎トライアンフ——花卉はダーウィンに似て幅広く、先端はやや丸味を帯びています。メンデルに次いで開花し、花梗も太く強健です。品種 サジタリウス(白)、ミスター・チンマン(桃と白の覆輪)

◎ダーウィン——現在、最も多く栽培されている系統で、花梗は長く丈夫で草木五〇(六)号となり、花はコップ型で基部は殆んど品種が直角になります。花卉は幅広く先端は丸味を帯び花型がくずれずしっかりしています。五月中・下旬に開花します。品種 ウイリアム・ビット、レッド・ビット(赤)、ママサ(黄)、クララ・パット(桃)等。

◎コテージ——五月下旬に開花し、花はダーウィンより小さくいろいろな型をしています。この中には百合咲きと称して透百合を縦に細長くしたような品種もあります。品種 ゴールデン・メジュー(黄)、マウント・エレバス(白)、メイタイム(紫、百合咲き)等。

◎パロット——ダーウィンやコテージ等の他の系統より芽条変異として生じたもので、ダーウィンと前後して開花し、花は大輪で弁縁に深い不規則な欠刻があり、茎は軟かいものが多いようです。品種 ブラック・パロット(黒)、ブルー・パロット(紫)等。

◎八重遅咲き——八重早咲きと似ていますが、晩生で花梗が強く草丈四〇号位となり花も大きいです。品種 マウント・タコマ(白)、ニーザ(赤と黄の絞り)等。

その他に最近目立つ品種としてダーウィン

ン×フォステリアーナの交配種でダーウィン・ハイブリッドという花型・草姿ともに雄大な系統があります。品種 レッド・マタドール(赤)、アベルドーン(橙赤)等。チューリップは花壇にはなくてはならない花卉の一つで、とくに円形花壇に秀れ、中心にダーウィンやダーウィン・ハイブリッドのような高性種を植え、周囲に矮性の早咲き種を組合わせたり、あるいはパンジーやデージーと取り合わせます。また一花床一品種とし、各花床のバランスをとって配置する方法もありますし、境裁床に開花順に配植したりするのも面白く、パロットや百合咲きの品種は宿根境裁床にとりいれるとよいでしょう。植付時期は九月下旬から十月上旬の間隔を一五号くらいにして植込みます。最近フォステリアーナ種でレッド・エンペラーという鮮紅色の大輪で四月末に他のチューリップに先がけて開花する見事な品種がでていますが、花壇には是非ともほしいものの一つです。

### ヒアシンス

普通にみられる花穂の大きい品種はオランダで改良されたダッチ・ヒアシンスの系統に属するものです。品種をいくつか掲げますと、ラ・ビクトリアル(赤)、デルフツド・ブルー(青紫)、クイン・オブ・ザ・ピンク(桃)、リノーセンス(白)等があります。開花期は四月下旬から五月にかけて殆んど品種が同時に開花します。クロッカスや水仙と組合わせれますが、どちら

かといいますと、円形や長方形の花壇にヒアシンスだけの集団植えにするとういでしょう。球根の単価が高いために少数の球根をまばらに植える人がいますが、貧弱に見えるよくありません。植付期は九月上旬から十月上旬。チューリップより早めに、球根の間隔は一五〜二〇号くらい。

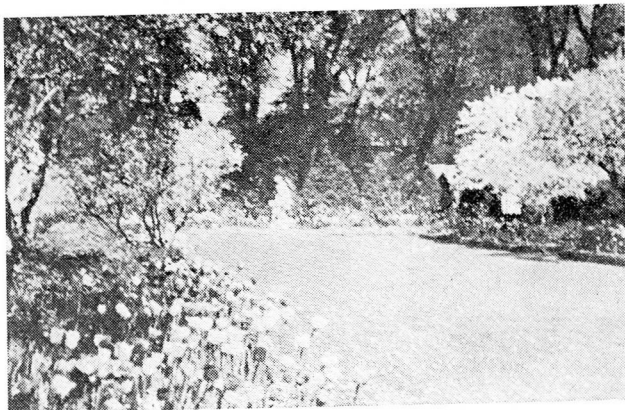
### スイセン

水仙の園芸品種は非常に多く、花蓋片と副冠の長さの比率やその色でいくつかに分類されていますが、花壇用として見事なものはラッパスイセンやカップスイセンで、黄色を中心として白色のものなどいろいろの品種がありますが、前者の代表的品種としてはキング・アルフレッド(黄)、マウン・ト・フッド(白)等があり、後者ではフォーチン(黄、カップ橙)、サー・ワトキン(黄)等があります。多くの品種は四月下旬に開花します。長方形の単植花壇として庭の側方に植えたり、垣根や建物の腰壁沿いにあるいは通路の両側に狭い境裁床よりとれない場合に適当なものです。植付時期は発根が早いので、八月下旬から九月上旬頃に一五号くらいの間隔で植付けます。二、三年掘り上げずにそのままにしておいた方がよいでしょう。口紅水仙や房咲き水仙等は宿根境裁床の前縁近くに植込まれますと美しいものです。

### クロッカス

普通みられる園芸品種はベルヌス種の改良種で、フロラー(青紫)、カカリン・ペア

広いローンの両側につくられた両側境裁床にチューリップが満開している。



ロー(白)、ミカド(絞り咲き)等があり、他に来歴の明らかでないラージ・エロー(黄)がよく用いられます。春、雪どけと共に咲く一〇号から一五号くらいの高さの愛らしい花です。開花期は一週間に満たないくらいですが、花壇の縁取りに植えますと凋花後も葉の美しさをいかせます。また群植して宿根境裁床の前縁を飾ったり、庭木の植込みの周辺などにも適しています。植付時期は九月中旬から十月上旬。球根の間隔は三号からせいぜい五号くらいとし、やや深めに植えた方がよいでしょう。

(北大農学部花卉・造園学講座)